

## 図書交流館セルフ貸出機等導入検討について

### 【事業内容】

- ・ 図の①にセルフ貸出機を設置
- ・ 図の②に貸出確認ゲートを設置
- ・ 図書交流館の資料に IC チップを貼付
- ・ 地方創生臨時交付金を活用



### 【目的・メリット】

- ・ セルフ貸出機で利用者自身が貸出手続きを行うことで窓口での接触機会を減らし感染症リスクを軽減する。
- ・ 窓口業務の負荷が減ることにより、職員が資料の調査や登録等の専門業務に専念する時間が増える。
- ・ メインエントランスのゲートで貸出されているかチェックをするため、不正持ち出しの減少が期待できる。
- ・ 貸出されていない資料を、民間テナントエリアのカフェ等で読んでも管理することができる。
- ・ 蔵書点検時、資料1点ずつではなく電波でまとめて行うことで作業時間を短縮する。

### 【スケジュール（案）】

- 令和3年1月 導入事業契約
- 2月～3月 IC貼付済新館用図書納品
- 4月 運用開始